



7月10日、昼過ぎ。鼻の奥から口蓋垂の後ろ辺りに違和感がありアア・・・とか。慢性副鼻腔炎の持病がある自分は炎症再燃の初期症状、エッ！この時期に症状が？

不審に思いました。例年その発症は初冬から2月頃までなので。

掛かりつけの耳鼻科受診も考えましたが、新型コロナウイルス感染拡大第7波上昇開始の時期でした。

とても不安でしたがPCR検査を受ける事にしました。11日近医ホームページアクセス発熱外来予約、PCR検査、翌12日、結果陽性の告知あり。夕方抗ウイルス薬を処方されました。そして厚生労働省のCOCOA登録。HER-SYSを登録すると保健所からSMSに指示事項の送信が有りました。

HER-SYSには毎日SpO2値、体温及び設定された症状にチェックを入力送信します。飲みにくいカプセル、特に咽頭部に違和感があると難儀でした。発熱は1日だけ38.1℃、カプセル内服後は平熱に。

大阪市の支援物資は、申請しないと送付してもらえません。

自宅療養者支援サイト

重症化リスクのない75歳未満の方は、こちら「大阪府75歳未満専用ページ(外部サイト)」

新型コロナウイルス感染症と診断され、保健所から自宅療養と決定された方へ、安心して自宅療養していただくため、必要な情報や支援内容を掲載させていただきます。特に、自宅療養をされる際に必要なことをまとめたしおり、「自宅療養されるみなさまへ」は、ご覧ください。

本ページ項目一覧はこちら「>」よりご確認ください

自宅待機SOS TEL: 0570-055221 (24時間受付)	※自宅療養されるみなさまへ※ 必ずご確認ください
自宅療養者への診療を行う 医療機関について	療養支援について (往診、健康観察等)
生活支援内容について (配達サービス・パルスオキシメーター貸出)	その他取組紹介



大阪市自宅療養支援サイトにアクセス、ラゲブリオカプセルは長さ4cm、パルスオキシメーター貸与、食事支援(レトルト、加工食品、缶詰、菓子類)後7月20日迄自宅療養を強いられました。私が感染した7月の10日前後は第7波が始まって間もない頃。比較的公共の場所にもアクセスしやすい時期、役所の対応や保健所の対応は丁寧に扱って頂きました。糖尿病や高血圧を抱えていたので軽症に経過できたのは抗ウイルス薬の早期内服だったのでしょうか。症状が有ったら躊躇せず、早期に検査を受けて感染を早く知り、厚生労働省の規約に沿って療養することは、自身の重症化回避と感染拡大の防止に寄与することになるのですね。感染者数は減少してきていますが、この後も感染対策を十分行って健康で過ごしたいものです。